

## 横浜ゴム新城工場新入社員研修



四月四日、横浜ゴム新入社員(班長、幹部社員を含め四十名)研修が景観・環境にやさしい四谷の千枚田で行われた。この研修は平成十九年から毎年行われる恒例行事となった。また、この研修において横浜ゴム新城工場と四谷の千枚田は切っても切れない大きな絆が保たれている。その事例の一つとして「横浜ゴムが環境重視の活動の一環として工場敷地内にドングリなど広葉樹を植栽。二酸化炭素の削減を図り、企業としてこの活動が評価されている。これも、この研修が縁で環境にやさしく育てられた千枚田の稲藁がドングリなどの播種や幼木の敷き藁とし活用されるように波及した結果である。また、この四月三十日には東日本大震災で大きな犠牲者を出した岩手県の大槌町の海岸線に横浜ゴム主催で防潮林の植栽が行われ、敷き藁として「四谷の千枚田」の稲藁が利・活用される。

【研修概要】まず、会長から「皆さんは社会人の第一歩の研修である。規律を持った行動を取っていただ



きたい。」続いて市地域整備課内藤課長は「厳しい条件で耕作している地元の皆さんを参考に諸君も社会人として厳しさを乗り越えなければならぬことが多々あると思うが地元の皆さんの苦勞を見て、感じて頑張っていたきたい。」森本副工場長は「保存会、行政の皆さんには大変お世話になる。このことを新入社員、幹部社員は心をもって感じ、接するように」と挨拶があった。

九時半、「棚田の保存、景観、文化、生物多様性」を説きながら十一時にふれあい広場に到着。この頃から爆弾低気圧の影響で強風、みぞれの降る最中、保存会指導によるふれあい広場の景観整備を行った。

昼食は「棚田っ娘」自慢の五平餅と猪汁(猪肉は海老の伊藤勇さんのご厚意と地元捕獲)でもてなした。



交流会は松下事務局の軽快なテンプで進行。穂積市長は地元優良企業に就職おめでとう。新城市に住んでいたければ幸いである。「県新城設楽農林水産事務所の伴課長は「全国でも名だたる四谷の千枚田の活性にふるさと指導員を通してできるだけの支援を目標んでいる」と挨拶された。自己紹介では「挨拶をしつかりする」、「早く班長になる。早く工場長になる」等々、夢を語った。最後に千枚田入り口付近の腐れ木を片付けた後、保存会を代表して高橋副会長、横浜ゴムからはいつもお世話になっている藤沢さんからお礼の挨拶で研修を終了した。



## 作業道復旧

台風十五号で崩落した作業道が三月末に完成した。

この災害に遭って棚田の百性は道の大切さがしみじみ解かった。

地域の人や耕作者にとって「千枚田は新城市や愛知県、国においても有名で放っておくことができない大事な宝だから、じきに直してもらえるのでは」と皆に言い歩いた。

行政も復旧にすばやく動いていただき、復旧に至った。それもこれも平成九年、行政の受け皿として鞍掛山麓千枚田保存会を設立。棚田の保全、都市交流等々、保存会を核に地元と行政が手を取り合って築きあげてきた賜物と感謝の念を抱くとともに、より一層、責務を持って棚田保全に取組みます。本当にありがとうございます。



## 連谷お助け隊総会

四月七日、お助け隊は連谷会館において平成二十四年度の総会を行った。

### 二十三年度 事業報告

一 「灯そう千枚田」事業の実施

① 準備作業 五月二十二日

② イベント開催 六月四日

二千枚田保存会環境整備作業への協力(保存会主催行事)

期日 五月二十九日、十月二日

三 連谷地区環境整備活動の実施

期日 十一月十三日

実施場所 与良木・大代地内の沿道伐採作業

### 二十四年度 事業計画

一 「灯そう千枚田」事業の実施

イベント開催 六月二日(予定)

二 連谷地区環境整備活動

期日 十一月中旬(日)

三千枚田保存会主催行事への協力

・ 各種交流活動及び千枚田周辺環境整備活動ほか

### 二十四年度 役員

・ リーダー 林 義明

・ 役員 原田佳治、小山英樹、大橋剛、金古浩一、原田英史、松下誠

お助け隊結成から、はや九年。その間、保存会活動の手となり足となり地域の活性にどれだけ寄与したのか。頭の下がる思いである。

## お花見会

四月七日、連谷ふれあい交流館は地域住民に呼びかけ、恒例の「お花見会」を盛大に催した。

あいにく、今年は寒くてお花見はできなかったものの写真で見ると「若い頃はそれなりのべっぴんだった」と自負する着物姿のお姉さん達？から本格的な作法により緊張しながらもお茶をいただいた。



## 田植え

・ 五月十日、豊橋調理製菓専門学校  
の田植えが千枚田を実習田として  
行われる。同校は食の原点である  
「米づくり」を田植えから収穫まで  
体験。また、地元のおばさんの指導  
で郷土料理などの実習も行う。

・ JA愛知東では「こども農学校を  
開催。一年間の農業体験を通してこ  
どもたちに「食」と「農」の大切さ  
を教える。その一環として五月十二  
日、千枚田で高橋庄一(顧問)の指導  
で田植えが行われる。

・ 五月十六日(午後)、連谷小学校の  
田植えが行われる。

全校五名、先生方七名で一、二年  
生がいないのでちょっと寂しいが、  
野外学習に千枚田活動を積極的に  
取り入れている。

### 千枚の水鏡

千枚田ではゴールデンウィーク  
から代かき、田植えが始まる。田植  
えの最盛期は十日から二十日頃で、  
観光客でにぎわう。

ふれあい広場から見下ろす「千枚  
の水鏡」は季節の風物詩として人気  
が高い。

行 平成二十四年四月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二